

第4章 都市づくりの課題

1. 主要課題の整理

豊かな自然環境と広域的交通体系を活用した、個性と魅力ある産業を持つまちを効率的に形成し、「豊かな生活の場」づくりを実現します。

1.1 「うみ」を守り、活用する

浜の宮海岸などの自然環境・自然景観を守り・育てるほか、既存施設等をいかした臨海の自然学習レクリエーション拠点の形成を図っていく必要があります。

また、漁業の振興を図るために、漁業基盤の充実とともに水産物のブランド化による朝市などの振興や観光への対応などを進めていくことが求められています。

なお、下水道整備の推進やバイオマスタウン構想の推進および新エネルギービジョンの実現等も、豊かな海洋環境を守る上で重要な施策です。

1.2 「まち」を再生し、顔をつくる

京築地域の広域拠点との連携および本町の中心地を形成する上で、合併以前の中心地として住民サービスを担ってきた JR 椎田駅周辺の中心市街地活性化と JR 築城駅周辺の生活拠点形成が必要です。特に、JR 築城駅周辺は計画的な市街地形成を図るために、都市計画区域および用途地域の指定検討が必要です。また、まちの中心にふさわしい顔づくりも求められています。

また、都市計画道路や都市公園(住区基幹公園)の適切な配置により、安全で便利な市街地形成が必要です。特に都市計画道路の整備により、築城 IC や椎田 IC から市街地へのアクセス性を高めるほか、関連する道路整備等により、町内全域から市街地へ、および市街地同士の交通利便性を高めることが必要です。その際、コミュニティバスや鉄道の利用促進も求められます。

なお、航空自衛隊築城基地の騒音対策や防犯・防災対策など住環境向上のための取り組みも必要です。

1.3 「さと」を育て、魅力を高める

本町の魅力である自然環境と市街地を結ぶ農地や集落地等は、本町の貴重な構成として積極的な環境保全および地域振興が必要です。

市街地に隣接する農地は無秩序な開発を抑制する必要があるほか、築城 IC・椎田 IC 周辺は企業誘致用地として計画的な開発を誘導する必要があります。また、農地の観光利用や特産品の充実なども求められています。

集落地等では、防災・防犯対策や生活道路の適正確保および地域コミュニティの維持・向上等により、安全・便利で住みやすい住環境形成が求められています。

また、神楽等の伝統文化を守り育てていくことが非常に重要であり、「神楽の里 京築まるごと博物館」を地域振興に活用することも必要です。

城井川等の河川は、山林部と「さと」、「まち」および「うみ」を結ぶ重要な環境軸であり、河川環境の維持・向上が必要です。

1.4 「やま」を守り、活用する

耶馬日田英彦山国定公園に指定されている山林部は、豊かな自然環境とともに歴史的資産等の保全・活用を図っていく必要があります。特に、既存施設等を活用した山間の自然学習レクリエーション拠点の形成を図っていく必要があります。

また、林業振興のための基盤整備のほか、林業及び森林を観光利用することが求められます。なお、保安林の保全・機能向上や災害予想危険箇所への対応も必要です。

2. 項目別課題の整理

項目	現状の特徴・問題点	上位・関連計画での位置づけ
2・1 都市将来像・ 都市構造	<p>人口減少・高齢化が顕著 旧来の中心部である JR 椎田駅周辺、JR 築城駅周辺の人口密度が高い 国道 10 号、JR 日豊本線を介した北九州市、行橋市および豊前市との結びつきが強い 「住機能型」であり、経年的に自町内就業率低下 第一次産業の割合が高く、特色ある特産品を有するが経営規模縮小が顕著 観光客数増加傾向・県内日帰りが大半</p>	<p>豊かで多様な自然環境をいかした農林水産業の展開【ふくおか新世紀計画】 東九州自動車道を活用した新たな産業展開【ふくおか新世紀計画】 自立した生活経済圏の形成(広域的な機能連携)【京築広域市町村計画】 自然と歴史・文化が育む「豊かな生活の場」づくり【築上町総合計画】 「うみ・まち・さと・やま」を活用した都市構成【新町建設計画】</p>
2・2 土地利用	<p>「うみ」と「やま」を川が結ぶ地形 山林部での東西方向の一体性が低い JR 築城駅周辺部の農地の一部に開発可能な地域が分布し、新築着工が顕著 都市計画区域は椎田地区のみに指定、JR 椎田駅周辺に用地地域指定 準都市計画区域は築城市街地および椎田都市計画区域に隣接する農地部等に指定 都市計画区域外は、住民主体のまちづくり手法である地区計画が不可 国道 10 号沿道、用途地域外延部等で開発・農地転用等が多い</p>	<p>自然環境の保全・活用エリア(海岸線、森林地域、河川流域)【京築広域市町村計画】 産業振興エリア(椎田 IC 周辺、国道 10 号沿道)【京築広域市町村計画】 広域衛星拠点(椎田駅周辺、築城駅周辺)【京築広域市町村計画】 2つの拠点(築城拠点、椎田拠点)【新町建設計画】 拠点【都市計画区域マスタープラン】 産業拠点(築城 IC、椎田 IC)【新町建設計画】 農村地域(優良農地の確保・保全、農業振興)【京築広域市町村計画】 椎田駅周辺商業地の重点整備(中心市街地活性化)【中心市街地活性化基本計画】</p>
2・3 都市施設	<p>< 道路・交通 > 国道 10 号、椎田道路により周辺都市と連絡 幹線道路が脆弱 都市計画道路(椎田都市計画区域のみ)の未整備部分多い 日豊本線の椎田駅、築城駅の乗降客数は減少傾向 コミュニティバスの利用者は増加傾向</p> <p>< 公園・緑地等 > 市街地部を中心に公園緑地が立地(都市計画公園はない、身近な公園が不足) 町南部は地域制緑地に指定</p> <p>< 河川・下水道 > 公共下水道事業の進捗が遅れている 城井川をはじめとする河川が山と海を結ぶ</p>	<p>東九州自動車道とこれを補完する国道や県道の整備推進【築上町総合計画】 都市計画道路の整備推進【都市計画区域マスタープラン】 生活道路・避難道路等の適正確保【築上町地域防災計画】 コミュニティバス・鉄道の利便性向上【築上町総合計画】</p> <p>住民が利用しやすい位置に住区基幹公園を適切に配置【都市計画区域マスタープラン】 豊かな自然を活かした公園の整備【環境基本計画】</p> <p>上下水道施設整備【築上町総合計画】 城井川の再生【環境基本計画】</p>

住民意向(アンケート調査結果)	まちづくりの基本的課題
<p>就業機会の充実度の満足度低い 「活気のないまち」「寂しいまち」というイメージ高い 観光農園や町民農園、農業体験など、農業を観光利用することが望まれている 水産物のブランド化を進めることが望まれている 林業体験や森林浴など、林業および森林を観光利用することが望まれている</p>	<p>豊かな自然環境と広域的交通体系を利用した、個性と魅力ある産業を持つまち 東九州自動車道を活用した新たな産業集積の促進 観光型産業の展開 働く場と住む場が豊かな自然環境の中にコンパクトに配置された都市構成の実現 周辺都市と機能連携した自立性の高い生活圏の形成</p>
<p>駅前を開発して中心地にふさわしいまちづくりをすることが望まれている インターチェンジ周辺に企業立地を促進することが望まれている</p>	<p>自然的土地利用と都市的土地利用の調和を図ったコンパクトな市街地形成 海岸線・森林地域および河川環境の保全と活用 JR 椎田駅周辺の中心市街地活性化 JR 築城駅周辺の生活拠点形成と周辺の市街化の計画的誘導(都市計画区域および用途地域の指定検討、住民主体のまちづくりの推進等) 築城 IC、椎田 IC 周辺の新しい産業の集積促進 国道 10 号沿道の沿道土地利用促進</p>
<p>家の周りの道路への満足度低い バス・鉄道の利用満足度低い</p>	<p>広域交通網の整備と生活道路の改善による生活利便性の高い交通ネットワークの実現 東九州自動車道とこれを補完する国道や県道の整備推進 都市計画道路の整備推進 生活道路・避難道路等の適正確保 コミュニティバス・鉄道の利便性向上</p>
<p>身近な公園の満足度低い</p>	<p>住民に身近な公園確保と豊かな緑地空間の活用 住区基幹公園の適切な配置 豊かな自然環境を身近に感じることができる公園・緑地の確保</p>
<p>河川の安全性や親しみやすさの満足度低い</p>	<p>水環境の向上と城井川の再生 上下水道の計画的整備推進 城井川の再生 河川改修と河川環境の活用</p>

項目	現状の特徴・問題点	上位・関連計画での位置づけ
<p>2 ・ 3 都市施設</p>	<p>< 公共公益施設等 > 合併前の旧町単位で施設確保</p> <hr/> <p>< その他 > 市街地内に文化・交流施設、海岸部と山林部に自然体験型レクリエーション施設が立地</p>	<p>子育てをしやすい環境整備、救急および地域医療体制の確立【築上町総合計画】 地域自治・コミュニティの充実、自立して暮らせる環境整備【築上町総合計画】</p> <p>海の恵みの臨海地域・臨海の自然学習レクリエーション拠点【新町建設計画】 緑豊かな森林地域・山間の自然学習レクリエーション拠点【新町建設計画】 観光資源の整備【築上町総合計画】 築上町バイオマスタウン構想 築上町地域新エネルギービジョン</p>
<p>2 ・ 4 および自然環境形成</p>	<p>町南部に保安林が広がっているほか、耶馬日田英彦山国定公園に指定 良好な自然景観や歴史的景観を有する資源が町内に点在</p>	<p>豊かで多様な自然環境の活用と関連産業振興(再掲) 海の恵みの臨海地域・臨海の自然学習レクリエーション拠点(再掲) 緑豊かな森林地域・山間の自然学習レクリエーション拠点(再掲) 自然環境資源の多面的活用促進(グリーンツーリズム・ブルーツーリズム)【京築広域市町村計画】 保安林等の保全・機能向上【築上町地域防災計画】 城井川の再生(再掲)</p>
<p>2 ・ 5 住環境</p>	<p>新築着工の約7割は住宅 用途地域および都市計画区域外での着工が目立つ 河川沿いの県道に面して災害予想危険箇所が多い</p>	<p>J Rの駅を中心とした新たな市街地の形成(市街地整備の推進)【築上町総合計画】 公営住宅の整備【築上町総合計画】 航空自衛隊築城基地に関する対策(騒音等)【築上町総合計画】 避難場所の指定・適正確保【築上町地域防災計画】 防災・防犯体制の確立【築上町総合計画】 子育てをしやすい環境整備、救急および地域医療体制の確立(再掲) 地域自治・コミュニティの充実、自立して暮らせる環境整備(再掲)</p>
<p>2 ・ 6 その他</p>	<p>本町の歴史性を反映した文化財が多く存在 各地区の神楽が特徴的歴史資産</p>	<p>神楽の里 京築まるごと博物館【京築広域市町村計画】 観光資源の整備(再掲) 築上町バイオマスタウン構想(再掲) 築上町地域新エネルギービジョン(再掲)</p>

住民意向(アンケート調査結果)	まちづくりの基本的課題
<p>行政施設の利用しやすさの満足度高い 周辺の市町も一体となり生活に必要な施設を利用できるようにすることが望まれている</p> <p>観光農園や町民農園、農業体験など、農業を観光利用することが望まれている (再掲)</p> <p>林業体験や森林浴など、林業および森林を観光利用することが望まれている (再掲)</p>	<p>生活サービス施設の利便性の維持・向上 既存施設の有効活用 広域的施設利用の検討</p> <hr/> <p>環境学習と産業が一体になった取組みによる築上らしいまちづくりの展開 バイオマスタウン構想の推進と関連施設等の充実 新エネルギーに対応した発電施設等の整備 自然学習レクリエーションのための施設の充実</p>
<p>自然の豊かさの満足度高い 「緑が豊かなまち」「自然環境が良いまち」というイメージ高い 観光農園や町民農園、農業体験など、農業を観光利用することが望まれている。 (再掲)</p> <p>林業体験や森林浴など、林業および森林を観光利用することが望まれている (再掲)</p> <p>まちの顔になる駅前の景観整備を重点的に実施することが望まれている</p>	<p>豊かな自然環境の保全と積極的な活用 臨海の自然学習レクリエーション拠点の形成とブルーツーリズムの実施環境整備 山間の自然学習レクリエーション拠点の形成とグリーンツーリズム実施環境整備 保安林等の保全・機能向上 城井川の再生(再掲) まちの顔になる景観形成 駅前の景観整備を重点的に実施 自然景観や歴史的景観の保全・活用</p>
<p>日常の買物利便性の満足度低い 住宅地の静けさ・雰囲気の満足度高い 病院の利用しやすさの満足度低い 地震や火災に対する家屋の安全性満足度低い 犯罪に対する安全性満足度低い 「静かなまち」というイメージ高い 「生活に不便なまち」「高齢者にとって生活しにくいまち」というイメージ高い 「便利で高齢者にやさしいまち」が望まれている</p> <p>地域住民のふれあいや防犯活動などを充実することが望まれている</p>	<p>安全で快適な住環境の形成 日常生活の利便性向上(交通環境の向上等) 公営住宅の計画的整備と高齢者に住みやすい都市基盤・施設の充実 航空自衛隊築城基地対策(騒音等)の実施 避難場所の指定・適正確保と避難道路の改善 防災・防犯体制の確立(地域コミュニティの充実) 住宅および主要施設等の耐震化促進と市街地内での不燃化の促進(準防火地域の指定検討等)</p>
<p>「個性のないまち」というイメージ高い 観光農園や町民農園、農業体験など、農業を観光利用することが望まれている (再掲)</p> <p>林業体験や森林浴など、林業および森林を観光利用することが望まれている (再掲)</p>	<p>自然と歴史を大切にしまちづくり 農業・林業・漁業を利用した観光産業の育成と支援施設(交通基盤・交流施設等)の確保 環境ビジネス等の展開(バイオマス・新エネルギー)と関連施設等の整備 歴史的資産の保全・伝承および観光活用</p>

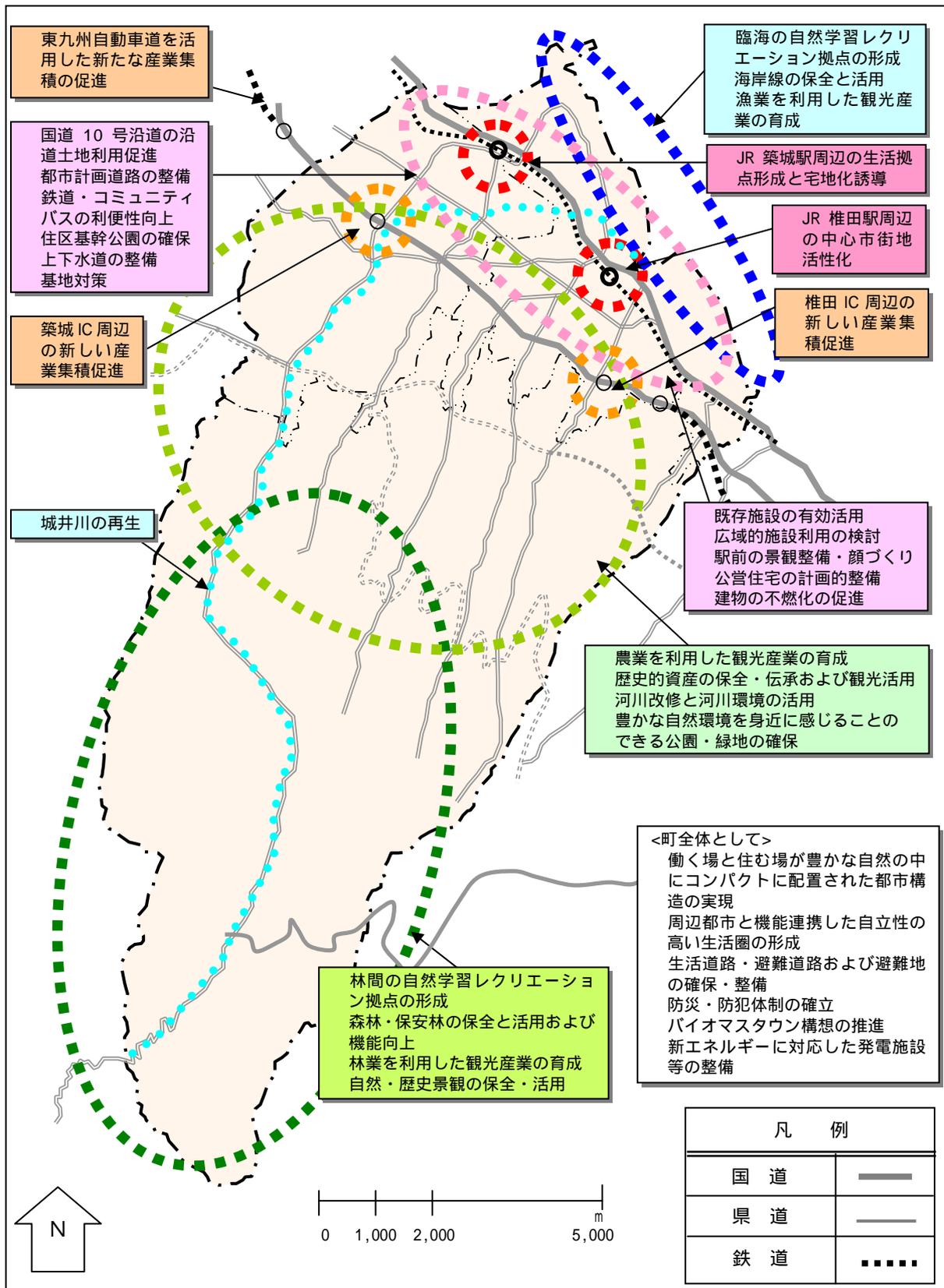


図 都市づくりの課題図